

群馬県立太田東高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

| 羅 針 盤 | | 達成度 | | | 改善状況のまとめ | 学校関係者評価 | 次年度の課題 | |
|----------------------------------|--|--|---|----|----------|--|--|---|
| 評価対象 | 評価項目 | ① | ② | 総合 | | | | |
| I 特色ある学校づくりに努めていますか。 | 1 特色ある教育活動を行っていますか。 | ①進学重視型の単位制の学校として、習熟度別・少人数制の授業形態や、自らの考えを深めたり、周りと意見交換し合ったりする授業内容に満足している生徒が70%以上いる。 | A | A | A | ○新しい学びに係る研修を4回実施し、指導と評価の一体化の観点から、具体的な授業展開について意見交換を重ねた。 ○共通教材(ENAGEED)の活用を通して、ICT機器を活用しながら、主体的な学びの場を構築できた。 ○ほぼコロナ以前と同じ頻度で学校行事を実施できた。生徒会が中心となり各行事で工夫がみられた。 | ○授業に対する満足度が高いことや、自分の学校が好きだと回答する生徒が多いことは良いことである。 ○これからも少子化が進むので、本校の強みを分析し、特色ある教育で生徒からたくさん志望される学校を目指してほしい。 | ○生徒自身が目的を持って学びに取り組めるよう、学校運営組織全体でシステムの構築や生徒への働きかけを行う。引き続き、生徒の進路実態に合わせた、より効果的な教育課程の編成を行う。 ○探究活動が計画的に実施できるよう、年間行事や指導計画の改善を行う。 ○生徒自身が、自分自身の生き方や在り方を感じられる行事や授業を工夫・検討していく。 |
| | | ②「みらい学」を中心としたEAST Projectに主体的に取り組む生徒が、70%以上いる。 | B | B | B | | | |
| | | ③自分の学校が好きだと感じている生徒が、70%以上いる。 | A | A | A | | | |
| II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。 | 2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。 | ④生徒が「主体的」に取り組む授業の工夫が行われ、授業に「主体的に取り組むことができた」と答える生徒が、70%以上いる。 | B | B | B | ○ICTや大学出張講義、さらに学びみらいPASSなどキャリア教育部が計画した行事や教材をうまく活用した結果、より授業に主体的に取り組む生徒や学習に意欲的に取り組む生徒の割合が増加した。 ○主体性や学習意欲の喚起をすることができた反面、それが学習の定着につながったかどうかについては、教員と生徒間でギャップがある。課題や課外の内容及び量を再点検したり、動機付けに対する改善策も行ったが、まだ目に見える形で結果には表れていない。 | ○高校生の相談相手になり考えをまとめていく大変な仕事だ。 ○授業や進路指導に満足している生徒が多いので、学習の定着に結び付けてほしい。受験は長くて苦しいが、具体的な目標をもって頑張してほしい。 | ○今後もキャリア教育部の行事の精選を行うとともに、年次を越えて交流する行事の実施やキャリア教育部長の講話などを通じて、主体的に授業に取り組む生徒の割合を増やしていく。 ○今年度、取り組んだ施策を粘り強く継続していきつつ、授業の質を上げていくための施策を新たに打ち出していく。 |
| | | ⑤自分の学習目標を明確にして、学習に意欲的に取り組んでいる生徒が、70%以上いる。 | C | C | C | | | |
| | 3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。 | ⑥進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が65%以上いる。 ⑦平日の学習時間が1時間30分以上の生徒が、75%以上いる。 | C | C | C | | | |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 4 組織的・継続的な指導を行っていますか。 | ⑧登下校時、自転車事故に遇わないために交通ルールを遵守している。 | B | A | B | ○定期的に係職員で登校時交通指導を行うことができた。また、生徒主体で登校時交通指導に取り組んだ。 ○積極的に清掃に取り組む生徒の割合が増加した。 ○研修を実施し、全教職員がアンテナを高くもち、生徒の僅かな変化も見落とさないよう意識を高めた。 ○遅刻の多い生徒に対して、担任だけでなく生徒指導部と連携して生徒が基本的な生活習慣を送れるように指導支援を行った。 ○三者面談で検診のすすめを保護者に渡すことで受診率は増加した。 | ○ルールを守ることは基本中の基本だ。 ○充実した学校生活を送るための先生方の努力が生徒に浸透して、良い高校生活を送れている印象がある。 ○「⑨清掃」、「⑩良好な人間関係」の項目がAというのは、日々の学校生活が安定して進められる。とても良いことである。 ○少数でも、苦しんでいる生徒に対しては、引き続き話を聴き続けてほしい。 | ○自転車用ヘルメットの着用推進も含め、生徒の安全意識の向上を図る。 ○学期末の大掃除をしなくて済むように、日々の清掃を計画的に行いたい。 ○常に生徒観察や状況把握に努め、全教職員で情報共有を図る。生徒の相談には、真剣に向き合い、話を聴く。 ○全教職員が連携を図り、学校全体で指導支援に当たる。 ○検診の重要性について保健だより等を利用して生徒に訴えかけ真剣に考えさせる。 |
| | | ⑨清掃を行い、綺麗になったことで達成感を持つ生徒が70%以上いる。 | A | A | A | | | |
| | 5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。 | ⑩良好な人間関係づくりを実行できている生徒が70%以上いる。 | A | A | A | | | |
| IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。 | 7 計画的な指導を行っていますか。 | ⑬担任と生徒の二者面談を年2回以上、保護者を加えた三者面談を年2回(1・2年次は1回)効果的に実施する。 | B | A | A | ○面談を通じて進路希望調査の結果など年次や学校全体の動きを保護者へ周知した結果、面談が生徒にも保護者にとっても効果的に働いていた。 ○また、進路行事に関してオンラインなどもうまく活用した結果、進路に関する情報についても概ね生徒・保護者とも満足している。 ○さらに、各種のキャリア行事の取組により自分の進路について各生徒の意識も比較的高まった。 | ○考え方や生き方において、生涯自分の目標、手本となる人を見つけることは大切である。 ○自分の進路について主体的に考えられることは受験へのモチベーションになり、またそれを学校や保護者と共有できる生徒が多いのは良いことだ。 ○コロナ禍で、また社会全体も先行きが不透明なことが多いので、いかに生徒に将来への夢をもたせるかが課題だ。 | ○面談の内容がさらに濃くなるよう、より生徒の進路にとって効果的な情報を提供できる準備をしていく。 ○進路に関する情報提供については生徒・保護者間で少しギャップがあるので、今後はGSN連絡網などを頻繁に活用しながら保護者への情報提供にも力を注ぐ。 ○3年間の探究活動をしっかり構築し、実践していくことで自己の在り方・生き方を考える力を伸ばしていく。 |
| | | ⑭進路に関わる情報提供が役に立っていると考える生徒が80%以上いる。 | B | B | B | | | |
| | 8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。 | ⑮自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるように努力をしている生徒が、75%以上いる。 | B | B | B | | | |
| V 開かれた学校づくりに努めていますか。 | 9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。 | ⑯本校の教育活動や取組を保護者や地域の人々に理解してもらうために、学校のホームページを月2回以上更新している。 | B | B | B | ○ホームページについては、学校行事や部活動報告等の新着記事が見やすいよう体裁を見直し更新した。 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、予定していた保護者会がほぼ中止となってしまった。代替の情報発信が効果的にできなかった。 | ○高校生になると学校の様子を話すことは少なくなってくるので、それに代わる情報発信を検討することは保護者にとって良いことだ。 ○学校が積極的に情報発信や公開をすることで、保護者や地域に理解される。生徒主体ならばより良い。 | ○生徒が学校行事や部活動などで活動する日々の様子等、より充実した情報発信を継続していく。 ○保護者会が実施できない場合、代替的な情報発信の検討を各担当に協力依頼をしていく必要がある。 |
| | | ⑰各年次保護者会や保護者向け講演会等に参加したことがある保護者が70%以上いる。 | C | C | C | | | |
| VI 教育のデジタル化に努めていますか。 | 10 ICTを活用した指導を行っていますか。 | ⑱ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。 | B | B | B | ○ICTの効果的な利用方法に関する情報などを職員に提供し、生徒の満足度の向上を目指したが、残念ながら、その頻度が少なくなってしまった。 ○ICTを活用した通知をより便利に利用できるよう、職員にシステムの活用方法などを、作成したマニュアルなどで紹介している。 | ○積極的に進めていることは良いことだ。 ○十分である。 ○積極的に進めていることは良いことだ。 ○十分である。 | ○より良い効果的な活用例などを、外部から持ち込む以外に、学校内で情報交換することを、今後検討し推進したい。 ○今後とも満足度の高い状況を維持出来るよう、各種サービスの管理などを確実に実施する。また、著作権や肖像権などの意識向上を行う。 |
| | 11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。 | ⑲ICTを活用した通知に、生徒の70%以上が満足している。 | A | A | A | | | |